



争わなければダメですか

【広島研修を終えて、今考えること】

にいむら ももか
弥富北中学校 新村 桃香

「なぜ人は争わなければならないのだろう」

私たちは、広島研修で実際に広島へ足を運び、平和について学びました。目を閉じれば今でも鮮明に思い出せるほどの、悲惨な光景を切り取った写真の数々、あふれる感情を残した日記や紙切れ、そして真っ黒になったお弁当…。平和記念資料館で目にした全ての物から、多くの犠牲者を出した戦争を二度と起こしてはならないと、心から思いました。

これほど人の命を奪う戦争を、どうしてやめられなかったのか。原爆は防げたのではないか—資料館に展示されている資料を見ながら、強い怒りを感じました。私は、こんなに苦しい思いをさせ、アメリカに核兵器を使う選択をさせたことが許せません。何も悪いことをしていない人々が次々と殺されていた現実が、そうさせた世界が今もまだ残っていることが、どうしても心の中に引っかかってしまいます。

この悲劇を繰り返さないために、今を生きる私たちにできることはたくさんあると思います。しかし、一般市民の私が、今世界のどこかで起こっている戦争を止めることはできません。だからこそ私は、争う前に自分以外の人やものにどれほどの影響が及ぶか考えることと、争うだけが解決の糸口ではないということを、より多くの人に伝えていきたい。そして、世界中にこの考えを広めたい。いつか、全ての人が手をつないで笑える日が来るように。



広島に行く前の私 行った後の私

【広島研修で学んだ“現実”】

わたなべ はな
弥富北中学校 渡邊 華

広島研修に参加する前の私は、戦争で死んでしまった人は、みんな苦しむ間もなく即死したと思っていました。しかし実際は、即死した人もいれば、町中を歩き回って亡くなった人、放射線の後遺症に何年も苦しんでから亡くなった人など、想像以上に悲惨な現実があったことを知りました。やけどを負った人たちが水を求めて川へ向かった際、川が沸騰していたためその水でさらにやけどをしてしまい、それが原因で亡くなることもあったそうです。また被ばくした人たちは、皮膚が垂れ下がったり、背中に服の柄が焼き付いたりするなど、変わり果てた姿になってしまいました。広島研修に参加したことで、多くの人がとても苦しみながら死んでいったことを実感し、本当に恐ろしい状況だったと改めて感じました。

【広島研修を終えて】

私は戦争について学ぶまで、日本は一方的に被害を受けていて、アメリカは悪気もなく原爆を使用したと思っていました。けれど広島に行って、日本もアメリカに攻撃をしていたこと、アメリカも戦争を早く終わらせようと原爆を落としたことを知りました。日本が被害に遭った八月六日は覚えているのに、アメリカが被害を負った十二月八日のことを覚えている人が少ないことを知り、少し複雑な気持ちになりました。日本とアメリカの垣根を越えて、一緒に平和について考えていかなければならないと改めて感じました。





十四山東部小学校



子どもたちは毎日元気に過ごしています。1学期に取り組んださまざまな活動を紹介します。

1年生を迎える会



1年生12人が、たくさんのお兄さん、お姉さんに迎えられ、一緒に遊んだり、クイズをしたり、プレゼントをもらったりしました。

田植え体験

5年生が、JAの方に教えていただきながら、田植えを体験しました。いざ田んぼに入ると、足がとられて転びそうになりましたが、苗を植えるのは楽しかったです。「上手に植えられた」と褒めていただきました。



町たんけん



2年生は、町探検で「子宝駐在所」「十四山郵便局」「ファミリーマート」を訪れ、働く人のお話を聞いたり、秘密を見せてもらったりしました。



避難訓練



避難訓練では、運動場に避難した後、津波に備えてライフジャケットを着る練習をしました。

運動会



「正々堂々たたかおう」のテーマのもと、赤組白組それぞれ団結し、運動会の勝利を目指して全力で取り組みました。異学年で交流する種目では、上の学年の児童が、お兄さん、お姉さんになって、下の学年の児童をやさしく手助けしていました。

プール



暑い日もありましたが、1年生の初めてのプールから、6年生の最後の着衣泳まで、楽しく水泳の学習を行いました。



栄南小学校

栄南小学校では、児童同士や地域との触れ合いを中心にして、「学び合い」を大切に活動しています。それらの活動を通して、子どもたちは健やかに成長しています。

異学年交流



子どもたちが学年に関係なく触れ合いができるように、児童会が中心となって企画・運営をしています。

交通安全



交通量が多い地域のため、地域の方々に登下校時の見守りをお願いしたり、保護者学級で交通安全教室を行ったりして、子どもたちが安全に登下校できるよう取り組んでいます。

「にっこりんタイム」



かかわりの力を高め、互いの意見や考えを聞き合えるようにするため、「にっこりんタイム」に全校で取り組んでいます。